



のか。小誌は周産期センターとしての実績・体制など、十二項目にわたる質問状を送り取材申し込みを行なった。しかし聖路加広報は、「検討したが回答できるものがない」と語るだけで事実上、取材を拒否したのである。

東京都福祉保健局の担当者も言葉少なんだ。

「(聖路加を含め周産期センターの実績に)課題があることは認識しております。今後、情報公開も含めて、どう対策を取るべきか議論、検討していきたい」

周産期医療を悩ますもうな矛盾を孕んでいる。

一つの問題は、さらに複雑な矛盾を孕んでいる。

「生殖補助医療が周産期医療に与える負荷の検討」

(日本生殖医学会雑誌 53巻4号 ○八年発行)と題されたレポートを発表したのは、聖路加の生殖医療センターの医師たちであった。

母体搬送を断わる一方、聖路加は生殖医療センター・不妊外来を持つ病院としても有名である。ホームページ上でも「妊娠率で三九%に達し(中略)高い妊娠

率が得られています」と喧

うとしている。

「(聖路加を含め周産期セン

ターカーの実績に)課題があることは認識しております。今後、情報公開も含めて、どう対策を取るべきか議論、検討していきたい」

周産期医療を悩ますもうな矛盾を孕んでいる。

「生殖補助医療が周産期医

療に与える負荷の検討」

(日本生殖医学会雑誌 53巻4号 ○八年発行)と題されたレポートを発表したのは、聖路加の生殖医療セン

ターの医師たちであった。

母体搬送を断わる一方、

聖路加は生殖医療センター・不妊外来を持つ病院としても有名である。ホームページ上でも「妊娠率で三九%に達し(中略)高い妊娠

率が得られています」と喧

うとしている。

「リスクは母子に押し付けられる

厚生労働省母子保健課の回答も歯切れが悪い。

「生殖医療については、アンケート調査を行い、まだ現状把握の段階にあります。五月に(医療機関の)指定要件を一部改定いたしましたが、罰則規定はな

い。これから(対策や議論)を積み重ねていきたい」

だが、悲劇は人知れず起

日米英の体外受精実施状況(2006年)

	日本	アメリカ	イギリス
登録施設	575	426	70
治療周期	139467	138198	44275
出生児数	19587	54656	12596

率が得られています」と喧

うとしている。

「(聖路加を含め周産期セン

ターカーの実績に)課題があることは認識しております。今後、情報公開も含めて、どう対策を取るべきか議論、検討していきたい」

周産期医療を悩ますもうな矛盾を孕んでいる。

「生殖補助医療が周産期医

療に与える負荷の検討」

(日本生殖医学会雑誌 53巻4号 ○八年発行)と題されたレポートを発表したのは、聖路加の生殖医療セン

ターの医師たちであった。

母体搬送を断わる一方、

聖路加は生殖医療センター・不妊外来を持つ病院としても有名である。ホームページ上でも「妊娠率で三九%に達し(中略)高い妊娠

率が得られています」と喧

うとしている。

「リスクは母子に押し付けられる

厚生労働省母子保健課の回答も歯切れが悪い。

「生殖医療については、アンケート調査を行い、まだ現状把握の段階にあります。五月に(医療機関の)指定要件を一部改定いたしましたが、罰則規定はな

い。これから(対策や議論)を積み重ねていきたい」

だが、悲劇は人知れず起

る

「表向きは多胎が減ったとされていますが、まだ一部には多胎が多くなった一因とされってきたのが、体外受精で妊娠率を上げるために複数の胚を子宮にもどす施設が多いことだ。平成二十年には日本産婦人科学会が「生殖補助医療における多胎妊娠防止に関する見解」を出し、移植胚は原則一つにするなどの指針を発表した。しかし、強制力のない指針に疑問の声があがっている。

「生殖医療が周産期医療に与える負荷の検討」

(日本生殖医学会雑誌 53巻4号 ○八年発行)と題されたレポートを発表したのは、聖路加の生殖医療セン

ターの医師たちであった。

母体搬送を断わる一方、

聖路加は生殖医療センター・不妊外来を持つ病院としても有名である。ホームページ上でも「妊娠率で三九%に達し(中略)高い妊娠

率が得られています」と喧

うとしている。

「リスクは母子に押し付けられる

厚生労働省母子保健課の回答も歯切れが悪い。

「生殖医療については、アンケート調査を行い、まだ現状把握の段階にあります。五月に(医療機関の)指定要件を一部改定いたしましたが、罰則規定はな

い。これから(対策や議論)を積み重ねていきたい」

だが、悲劇は人知れず起

る

「A.R.T.(生殖補助医療・以下、生殖医療)妊娠は帝王切開率と新生児入院日数の増加をもたらしており、周産期医療へ負荷を与えていると考えられた」

「一体どういうことか。ある新生児科医が解説する。

「いまN.I.C.U.は、双子、三つ子などの多胎で産まれる赤ちゃんが増えていま

る」と考えられた

「一体どういうことか。ある新生児科医が解説する。

「いまN.I.C.U.は、双子、